

関数を使ってカレンダーを作ろう

使う関数

関数名	意味	書き方
DATE	年月日を指定して日付を返します。	=DATE(2012,2,1)
WEEKDAY	引数の日付の曜日を計算して数字にします。	=WEEKDAY("2012/2/1")
CHOOSE	一つ目の引数+1 番目の引数の文字を返します。	=CHOOSE(2,"日","月","火","水","木","金","土")
MONTH	日付の月の部分だけを取り出して返します。	=MONTH("2012/2/1")
IF	一つ目の引数が正しいかどうかの判断をして、正しいければ二つ目の引数の文字を、正しくなければ三つ目の引数の文字を返します。	=IF(2*5=10,"正しい","正しくない")

関数の「入れ子」

関数の引数に関数を書くことを、関数の「入れ子」といいます。中に書いた関数の計算結果を外の関数の計算に使うことができます。

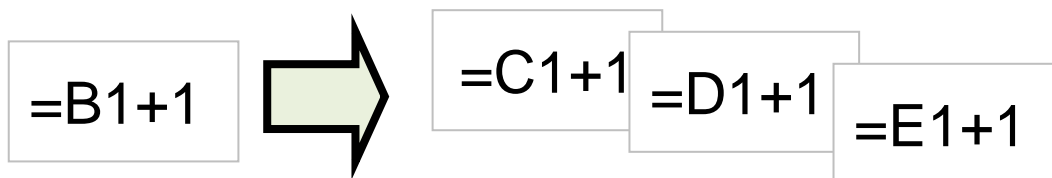
WEEKDAY()の答えは 4
(2月1日は水曜日のため)

```
=CHOOSE(WEEKDAY("2012/2/1"),  
"日","月","火","水","木","金","土")
```

4+1 番目の"水"が表示される

計算式のコピー

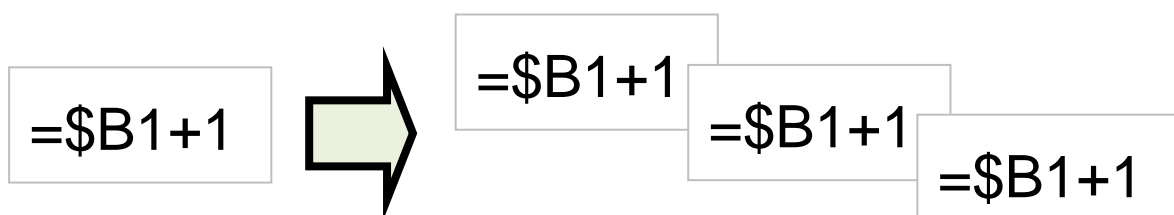
セル参照を含む計算式や関数を、オートフィルなどを使ってコピーした場合、セル参照はコピーした分だけ移動します。



右三列にコピー

(オートフィル)

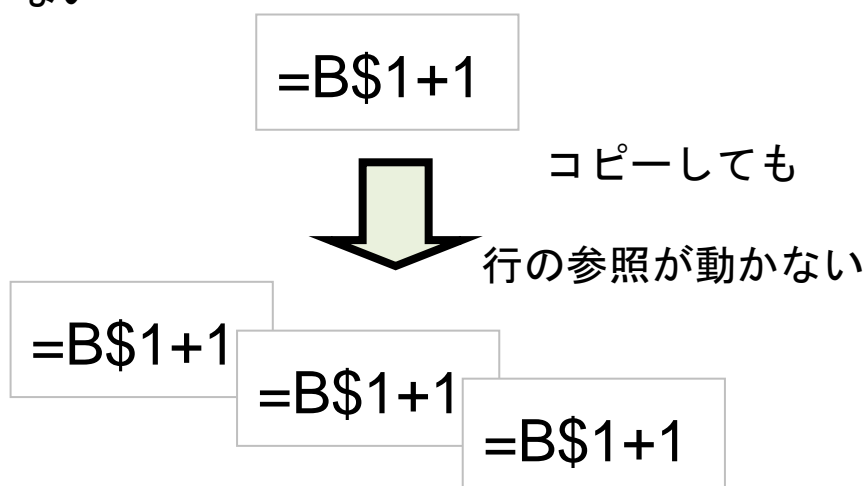
これをしたくない場合は、セル参照の列名や行番号の前に「\$」を書きます。行番号の左に\$をつけると行が、列の名前の左に\$をつけると列が固定されます。



コピーしても

列の参照が動かない

これらは、セル参照の上でF4キーを押すことでも切り替えることができます。



コピーしても

行の参照が動かない